OP081_1405C

壁面扉　～SRN-4S・4H～　組立説明書

株式会社 稲葉製作所

●梱包別部品一覧表

壁面扉を組み立てるには、次の部品が必要です。
梱包内の部品数を確認の上、組立順序にしたがって組み立ててください。

梱包番号 H9-0480(1480)

品番	部品名	数
71	壁面扉枠左S(H)	1
72	壁面扉枠右S(H)	1
73	壁面扉鴨居/K-4	1
74	壁面扉敷居/K-4	1
75	壁面扉枠支柱S(H)	2
部品袋	M6ボルト	2
	ネジ板B	6
	戸車調整用ボルト	2
	土台支柱穴ブッシュ	1
	ボルトキャップN/GR	8
	組立説明書	1

プレミアムグレー/PG
梱包番号 H9-0481(1481)

ミストグレー/MG
梱包番号 H9-0482(1482)

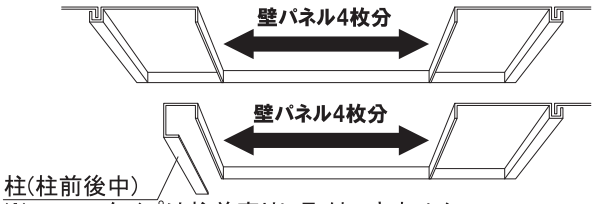
品番	部品名	数
33	壁面扉正面パネルS(H)	1
34	壁面扉中S(H)	1
35	壁面扉前S(H)	1

※(　)内は、Hタイプを示す。

★組立上の注意

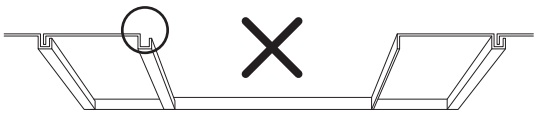
壁パネルと壁パネル、柱と壁パネルとの間に壁面扉を取り付ける場合は、必ず図Aのように壁パネルのフラットな面が内側に来るようにしてください。

図A



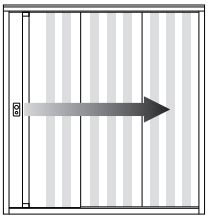
※GR、BRタイプは柱前寄りに取付できません。

図B:○部のような場合、壁面扉の取り付けはできません。

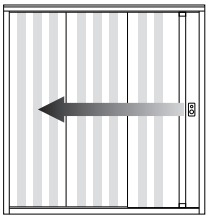


■扉を逆開きにする方法

扉は標準(工場出荷時)では、左開きにセットされています。



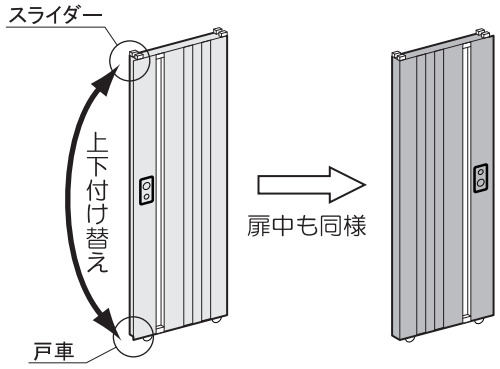
左開き(標準)



※右開き(下記参照)

右開きにする場合は、

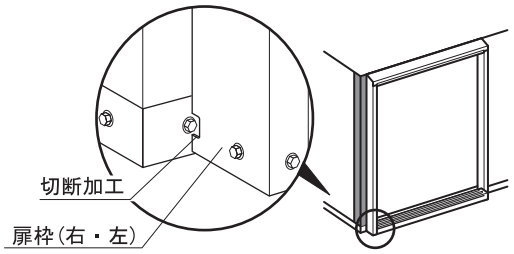
①「2」で敷居のネジ止めを反対にします。
②「5」で正面パネルを反対に取り付けます。
③「6」で扉の戸車とスライダーを上下付け替え、扉を上下逆にして取り付けます。(下図参照)



■GR・KR・KXNの柱寄りに扉を付ける場合

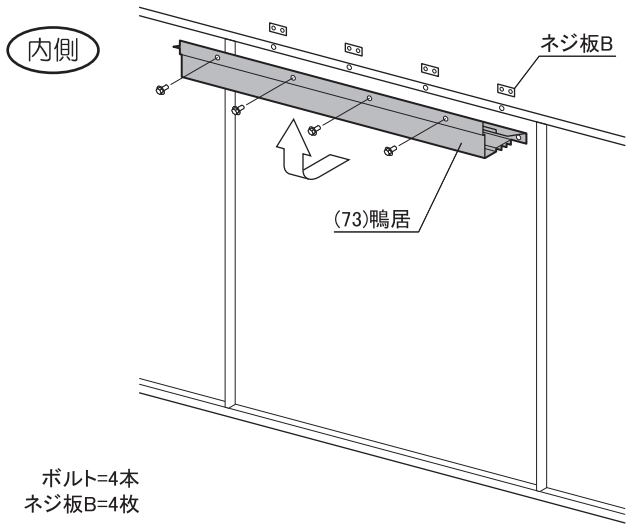
柱寄りになる扉枠左右(「3」で組立)は、組立前に点線の切欠きに沿って切断してください。

※土台のボルトが扉枠と干渉するため。



1.鴨居取付

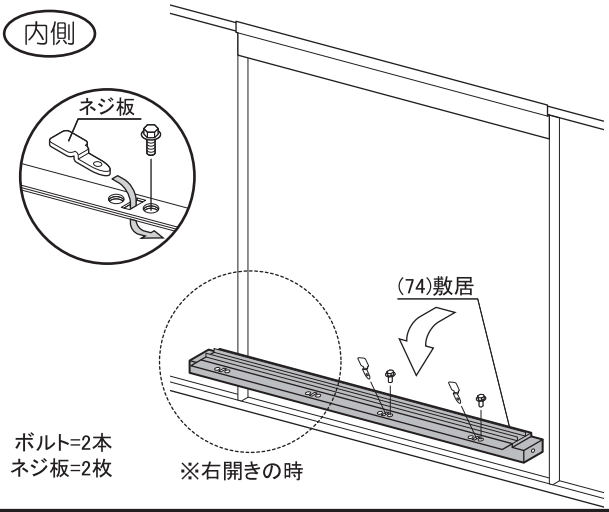
(73)鴨居をボルトとネジ板Bで取り付けます。



ボルト=4本
ネジ板B=4枚

2.敷居取付

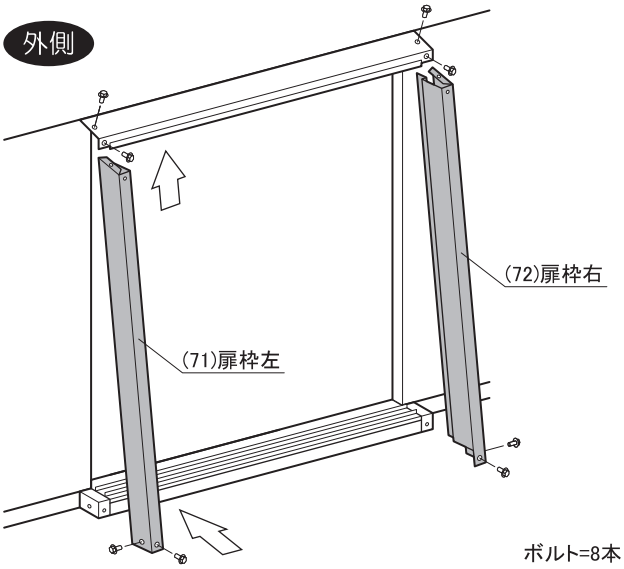
(74)敷居を土台にボルトとネジ板で２ヶ所取り付けます。
※右開きの時は、点線内の位置で固定してください。



ボルト=2本
ネジ板=2枚
※右開きの時

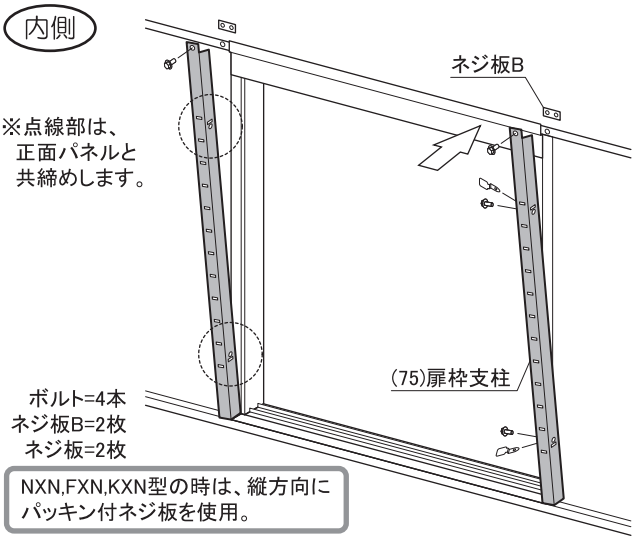
3.扉枠左右取付

(71)扉枠左、(72)扉枠右を鴨居と敷居にボルトで取り付けます。



4.扉枠支柱取付

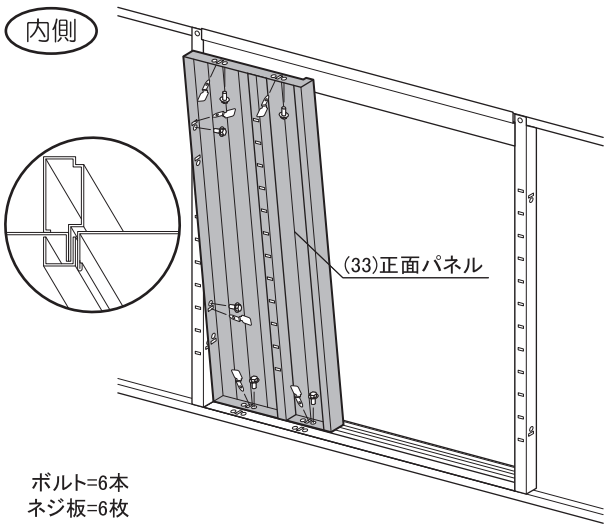
(75)扉枠支柱は上部をボルトとネジ板Bで取り付け、縦方向はボルトとネジ板で扉枠と共締めします。
※柱間の時は、上部(ネジ板B)の固定は不要です。



NXN,FXN,KXN型の時は、縦方向にパッキン付ネジ板を使用。

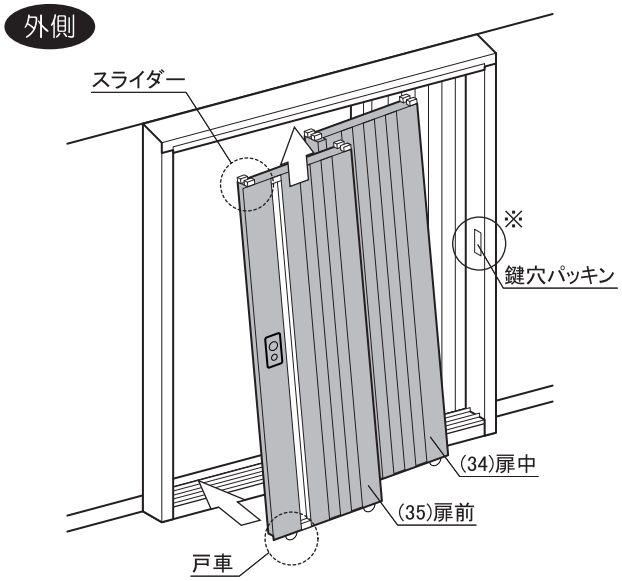
5.正面パネル取付

(33)正面パネルをボルトとネジ板で取り付けます。
※右開きの時は、正面パネルを右側に取り付けます。



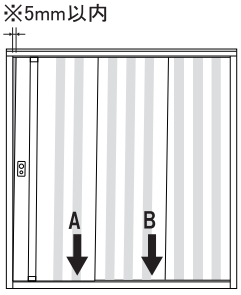
6.扉取付

(34)扉中·(35)扉前の順にスライダーを鴨居のレールに差し込み、戸車を敷居のレールにのせ扉をはめ込みます。
※右開きの時は、鍵穴パッキンを反対側に取り付けます。



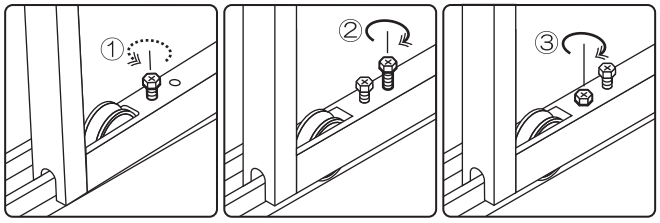
★戸当たり調整

扉を閉めて下図のようにスキマが出来た場合は、A·B部の戸車を①②③の手順で調整してください。



①戸車を固定しているボルトを4～5回転ゆるめる。
②部品箱内の戸車調整用のボルトで戸当たりを調整する。
③最初にゆるめたボルトを締め付ける。

※5mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、土台の水平を直してください。



7.完成

外に出ているボルトにボルトキャップを取り付け完成です。
●錠の操作方法については、本体の取扱説明書をご覧下さい。